肺の生活習慣病「COPD」をご存じですか

問すこやか生活課　☎・有(581)0201　FAX(582)1138

11月18日（水）は世界COPDデー



現在、日本のCOPDの患者数は530万人に上ると推定されています。「階段をのぼるだけで息切れがする」「1日に何度も咳や痰が出る」などの症状は、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の初期症状かもしれません。気になる症状がある場合は、医療機関を受診しましょう。

COPD検診

市では、令和9年3月31日時点で60・65・70・75歳の人にCOPD質問票を送付しています。質問票に回答いただき、COPDの危険性が高いと判定された人に受診券を送付しています。受診券が届いた人は必ず受診しましょう。

COPD検診

呼吸器のチェックを受けましょう

令和7年度のCOPD検診では、COPD以外にも、間質性肺炎、気管支喘息、非結核性抗酸菌症などの病気が発見されています。また、市では結核検診、肺がん検診などの胸部レントゲンによる検診も実施しています。この機会にぜひ、呼吸器のチェックを受けてみましょう。

肺がん検診　結核検診

社協から今月のお知らせ

守山市社協キャラクター
もりぴー

市内で子ども福祉委員が活躍中
応援よろしくお願いします

市内中学生を対象に募集した「子ども福祉委員」は、今年度25人の申し込みがあり、次の活動に取り組んでいます。

・高齢者福祉施設の見学と高齢者との交流
（7月20日 ゆいの里）
・子ども食堂の運営のお手伝い
（8月29日 もりやまエコパーク交流拠点施設）
・パラスポーツ教室の参加と運営のお手伝い
（9月19日 市民体育館）
・民生委員・児童委員体験（福祉イベントの参加や見守り活動）など



子ども福祉委員の中には、中学校3年間を通して参加している人、高校生になってもボランティアとして手伝ってくれる人もいます。背中に「子ども福祉委員」と書かれた紺色のベストを着用し、11月23日（月・祝）の「みんなのルシオールカーニバル」（市民ホール）にも参加予定です。守山市の福祉を盛り上げるべく頑張っている子ども福祉委員の応援を、よろしくお願いします!





ある社会福祉士のひとこと



今の時代に「子ども福祉委員」の活動への参加者はいるのでしょうか。初めは心配しましたが、興味・関心のある中学生がいることが分かり、少し安心しました。この取り組みで中学生と接すると、「とにかく反応が早い」と感じます。こちらの質問に素早く自分の意見を言ってくださり、また、今手伝えることがないか自ら聞いてくださるなど、頼もしく、またうれしい場面が多々あります。スマホやSNSで即刻に反応する、今やるべきことを効率よく済ませる、といったことが日常的に身についているのでしょうか。うらやましい限りです。すぐに「今の若い者は――！」と言いがちですが、この言葉は、良い意味で使っていきたいと思います。　（N.T）

守山市社会福祉協議会
☎・有(583)2923　FAX(582)1615
✉fukushi@moriyama-shakyo.or.jp

守山市社会福祉協議会ホームページ